

講義名	(対面)研究演習		
講義コード	15010	授業形態	
担当教員	前川 明		
開講期・曜日・時限	後期 月曜日 5時限		
備考			

ゼミ
全学
学部
全学部(商学部、経済学部、人間社会学部)
学科
全学科
演習名
前川 明ゼミナール(キャリア形成と能力開発)

概要説明

キャリア形成(特に働くため)に必要な能力について研究します。働くための能力を大学生生活でどのように身に付け、伸ばしてゆくのかを実践経験(社会連携プログラム、学祭などの活動に取り組んでいくこと)から考察していきます。まず、キャリア形成のための自己発見や他者理解、そのためのコミュニケーション能力を身に付け、さらにキャリアデザインについて文献講読をし、基礎的な知識を身につけます。並行して実践経験から身につく能力とはどんなものか、仮説を立て、実践して、検証していきます。常に理論と実践の両面からキャリア形成と能力開発について考えていきます。最終的には実践経験から得られたものを卒業論文としてまとめていきます。

学位

修士(政策学)

教員よりの要望

理論を学び、それを実証するために実践経験を積んでいきますので、本や資料を読んで勉強することと実践経験をつなげて考えられる学生にゼミに参加してもらいたい。そのために、学生の皆さんには「本気で勉強に取り組むこと」と「実践活動に熱心に取り組むこと」を望みます。

具体的には

- ・ゼミ活動を最優先にできる方(アルバイト等を理由に居残りが出来ない方は応募をご遠慮ください)
- ・勉強(輪読)をしますので、勉強することに前向きに取り組める方(自分で調べたり、資料作成をしますので、そういうことが苦でない方)
- ・グループワークも前向きに取り組める方(友達でない人ともコミュニケーションをとることが多いです。)

教員英字氏名

Maekawa Akira

研究室

5412研究室

最終学歴

龍谷大学大学院 政策学研究科 政策学専攻 修士課程

主な研究活動・社会活動・研究業績

キャリア教育、大学生のキャリアデザイン、学校から社会への移行、働くための学び、以上のテーマについて研究しています。

キャリアコンサルタントとして大学生の就職支援、キャリア教育、転職者の面接指導、面接のセミナー、企業の採用支援(面接代行)に従事しています。

主な卒業論文のタイトル

- 1期生(2020年3月卒業生)の卒業研究。テーマ一覧
 - ・コミュニケーション能力を身に付けたといえる定義・必要性
 - ・女子学生が社会で活躍するために
 - ・お笑い芸人のキャリアについて
 - ・コミュニケーション能力、人に伝えるための能力について
 - ・介護業界が求める人材と介護従事者のキャリアデザイン
 - ・若者(ゆとり世代)のキャリアについて
 - ・商業科出身の大学進学者におけるキャリア形成
 - ・女性のキャリアについて
 - ・スポーツ選手のキャリア
 - ・タカシエンス、入団からトップスターまでのキャリア-トップスターに必要な能力-
 - ・日本人が韓流ドラマから観る-日本と韓国の文化の違いから見るキャリア形成-
 - ・女性の男性化-日本のライフスタイルの変遷-
 - ・女性のキャリア - 必要な能力-
 - ・ホテルマンの離職と転職によるキャリア形成
 - ・商業音楽家においての能力開発について-先天的能力と後天的能力-
 - ・女性医師のキャリア形成
 - ・転職とパーソナリティの関係性について
 - ・コミュニケーション能力
 - 伝え方・伝わり方
 - ・店長になるためのキャリア形成
 - ・指導者のリーダーシップ論
 - なぜ声優を目指す若者が多いのか
- 以下のテーマで卒業論文を執筆した学生はいませんが、3年生で研究計画書を作成した際のテーマです。

趣味・特技

趣味：仕事(大学生に教え、共に学ぶこと)、安価で高性能な腕時計を集めること

所属

人間社会学部 人間健康学科

所属学会

日本キャリア教育学会、初年次教育学会、日本ビジネス実務学会

専門分野

キャリアデザイン、若年者の能力開発、人事企画(採用、教育、人事制度)

選考方法

1. 丁寧で余白のない書類。この内容が一番の選考基準です。特に志望理由、ゼミで何をしたい(主に研究や勉強について)の、主体的な思いを記入してください。成績(単位数)個別ガイダンスへの参加(ゼミの内容を聞いて、応募するか判断してください)以上の2点を総合的に判断し、特に意欲の高い人を評価します。面接の必要があれば、面接を実施する場合があります。

担当科目

自己発見とキャリア開発A、オフキャンパスプログラム、自己発見とキャリア開発B、スポーツキャリア論、キャリア基礎論、キャリア実習、キャリア実践論、キャリアビジネス論、研究演習、研究演習、卒業研究

備考

ゼミでの取り組み内容
・キャリア形成と能力開発について基礎の習得

評価方法

研究演習：ゼミへの貢献度、参加度合(出席、発言量、活動量、責任感、課題提出など)で総合的に評価します。研究演習：研究演習の評価項目に加えて、卒業論文の研究計画書の内容を評価します。卒業研究：研究演習の評価項目に加えて、卒業論文の内容を評価します。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり

小売業での販売職(3年)、洋菓子メーカーでの人事(採用・教育)(5年)を経て、その後、15年間、キャリアコンサルタントとして大学生の就職支援、キャリア教育、転職者の面接指導、面接のセミナー、企業の採用支援(面接代行)に従事しています。その経験を生かして、大学での学びや大学生活(課外活動など)での経験が、どのように社会で役に立つのかを実例を交えて解説します。